

2022 年春学期/ニューヨーク州立大学オルバニー校 帰国生アンケート

※注意※ ここで記載されているアンケート回答は**全て個人の主観によるもの**であり、あくまで『参考情報』としてみなさんに開示しています。**正しい情報とは限りません**ので、その点について了承した上で留学準備に活用してください。

1. 授業について

授業の形態や進め方はどんなものでしたか。

関西外大で一回生のときに履修した授業と似ている科目を履修しました。エッセイを実際に書いてみたり、ビジネス英語を学べました。わからないところがあつたらすぐに聞かないと全員が理解したととらえられ、すぐに進んでいきました。

主に生徒同士でグループを組んでディスカッションを行い、クラスで各グループごとに代表者が発表し、アイデアを共有していくスタイルだった。

基本は外大と同じで、教科書通りに進むが、個々の意見をより大切にして授業を進めたので討論などは多かった。

クラス人数、日本人と留学生比率、留学生の出身国などについて教えてください。

クラスの人数は多くて 20 人程度。日本人が半分以上。留学生の出身は多国籍でした。

最初の学期はクラス的人数が 17 人でそのうち日本人が 9 人だった。留学生の出身国はトルコ、ブラジル、中国、ブルキナファソ、スペインだった。

8割が日本人でその中に5、6人中国人であとはブラジルなどの生徒だった。

クラスの雰囲気はどんなものでしたか。

クラスではほぼネイティブの子もいて、授業についていくのが最初は大変でしたが、わからないところをすぐに聞くことで理解を深めました。

みんな仲良しでとてもいい雰囲気だった。分からないことがあると、学生同士で聞き合ったり、すぐにその場で先生に直接質問したりできたため、授業に置いて行かれることはあまりなかった。また、授業の中で映画を見たり、歌詞に注目したりすることがあったため、楽しく授業が受けられた。

とにかく個人の意見を大切にしていた。授業が止まることに抵抗はなく意見があるなら止めていた。その為、プレゼン、討論、エッセイはとにかく多かった。テストで成績がつくというより、プレゼンなどの方が配分としては高かった。

授業の中で取り上げられたトピックで印象に残っているものは何ですか。

SDGs

SDGs の授業での再生エネルギーの仕組みがとても印象的だった。

嘘は社会的に受け入れられるかどうかという討論でした。

授業を受けるにあたって工夫していたこと、努力していたことはなんですか。

授業内でわからないこと、先生が何を言っているのかわからなかったことなどはすぐに質問するようにしていました

分からない単語があると、授業中や休み時間、授業終わりに先生に聞きに行ったり、メモして放課後自分で調べたりしていた。

わからないことがあればメモをして、英語で調べることを意識していた。

2. 滞在先・自由時間の過ごし方について

ホームステイメイトはいましたか。

ホームステイメイトはどこの国の人でしたか。

0 人 (1 人)

1 人 (2 人)

4 人 (1 人)

日本

日本

通学手段	通学時間	主に食事はどこでとっていましたか。
バス (4人)	0~15分 (1人)	ホームステイ先(4人)
	15~30分(3人)	

部屋に用意してあったものは何ですか。	自分で用意したものは何ですか。
ベッド、机	大学のお昼ご飯
ベッド、勉強机	シャンプーや歯ブラシなど日常生活で使うもの
	洗顔やタオルなどの日常生活品

ホームステイ生活をする上で、日本と違って戸惑ったこと、驚いたこと。
ご飯が結構用意されないことがあった。
土足で部屋に上がること、水道水が飲めないこと
基本シャワーの時間が限られていること

ホームステイ生活を快適に過ごすためのアドバイスをお願いします。
ホームステイ先の家族と深い話をして仲良くなる。
ホスト先のルールはしっかりと守りつつ、あまり遠慮して生活しないこと。
嫌なものを嫌と伝えること

パソコンは持参しましたか	携帯電話	インターネットは部屋から接続可能でしたか。	その際に費用はかかりましたか。
はい (2人)	留学先でSIMカードを購入(1人)	ワイヤレスで可能 (2人)	はい(2人)
いいえ (1人)	日本からSIMカードを持参(2人)	LANケーブル/ワイヤレス共に可能(1人)	いいえ(1人)

大学主催のプログラム/イベント/ボランティア/サークルなど。	学内/学校近辺でよく利用した施設やお店など
外大からの友達と遊ぶ	お昼ご飯を食べるところで友達と話していた。
週に一度行われる大学のイベントにはなるべく参加する。大学で宿題を済ませる。	学校の近くのモールへ行ったり、家の近くの公園に行ったり、大学内のキャンパスセンターで勉強したり友達と一緒におしゃべりをしたりしていた。
友達と勉強したり、コンパセーションクラブやパートナーと話していた。	自分がやっていたのは暇な時に大学に行くといこと。大学に行けば誰かしら入るのでその人と話していた。

3. 留学前準備について

留学前に取り組んだ準備
英会話を勉強した。お金を貯める。

英語の勉強
日本文化の勉強。向こうでは日本のことを聞かれることが多いということはあらかじめ知っていたので勉強し、役立った。

留学前におけばよかったと思う準備
世界のニュースや日本のことについてしっかり自分の意見が言えるようになること
もっと英語を勉強してから行ったほうがよかった。
日本にしかないものを調べて持っていくこと。私の場合洗濯ネットや制汗剤などはなくて困った。

日本から持って行って役に立ったもの、または喜ばれたもの
クリアファイル
シャンプー、ヘアトリートメント、日本食、パソコン
日本のものは例外なく全て

日本から持っていく必要のなかったもの
コンセント変換プラグ
電卓
日本食。アジアスーパーもあるので大して必要になる場面はなかった。

日本から持参すればよかったと思ったもの
クリアファイル
洗濯ネット。向こうでは自然乾燥の概念はないので全部乾燥機を使うので、ニットなどは必需

4. 留学費用について

お金をどのように準備しましたか。	日本円でいくらぐらい準備しましたか。
デビットカード 2 枚、現金 5 万円ほど	トータル 50 万
現金は空港で換金して、外国の ATM でも使用できるプリペイドカードを日本で作った。	現金は 5 万円、プリペイドカードは 50 万円分換金した。
基本カードだが、現金は常の持っていたほうがいい。お祭りなどの屋台では現金のみのことが多いので元気が必要な場面が多々ある。そして稀に元気で支払うと、割引してくれることも	現金は 3 万円用意してあとはカードだった

現地で支払った住居費と食費を教えてください。	テキスト代と通学費はそれぞれいくらぐらいかかりましたか。
食費 10 万以上	テキスト 3 万くらい、交通費なし
プログラム費用に含まれているもの以外では支払っていない。	テキストは各学期ごとで約 60 ドルずつ。通学費はなし。
普通の食費はそこまでかからないが、外食時などに結構かかり、1ヶ月で諸々含めて、多くて 2 万円くらいだった。	テキストは買えば 2、3 万円するが買う必要はなく大学コピー機で教科書のコピーをしていた。コピーするのに大体五百円いかないくらいだった。交通費は学生証があればバスは無料

旅行(大学主催以外)をした場合の期間、費用、行先、手配方法など

ニューヨークシティまでバスで毎週末行っていた。

ニューヨークに行った時は大体ネットでホテルを予約し、値段は1泊2日で70ドルくらいだった。シカゴに行った際は、同じくネットでホテルを予約し、値段は3泊4日で100ドルくらいだった。

ニューヨークの中心の方へ旅行に行っていた。長距離バスで行き、宿泊費など含め大体3万くらいはかかった。

その他旅行や買い物など個人的費用は何にいくらぐらいかかりましたか。

40万円程度

旅行で20万円くらい、買い物で10万円くらい使った。

服と食費で10万円以上はかかった。旅行で15万円くらい

5. 学習面について

語学力・コミュニケーション能力の自己分析

かなり向上した。現地の友達と会話できるレベル。

コミュニケーション能力は上がったと思う。

当初はミスをするに抵抗があり、話せなかったが途中からミスするのは仕方ないことだと受け入れてから、一気に成長を感じた。自分の意見を困ることなく話せるくらいにはなった。

留学前の目標とその達成度

問題なく日常生活を送れるレベルが私の留学前の目標だったが、80パーセントその目標を達成できたとおもう。

留学前はとにかく話すことを目標にしていた。留学を終えて、その目標を100%達成できた。その結果多くの現地の人に誘われることも多く、出会いの機会が増えた。

留学を通しての成長ポイント

リスニング力

伝えたいことがなかなか伝わらなくても諦めずに相手に伝わるまで伝えようとする心が持てるようになった。

交渉の能力が身についた。向こうでは交渉することは基本で授業内容も交渉次第で変わるので、相手を尊重しつつ、交渉する技術が身についた。

留学前/留学中/留学後の語学学習に対するモチベーションの変化

モチベーションは留学前と留学中よりも上がっている。

留学前より確実に留学後のほうが英語に対する言語の壁がなくなったし、英語を勉強しようというモチベーションがとて高くなった。

当初から今まで上がり続けている。会話ができるだけ自分の世界180度異なることに気がついたのでモチベーションは過去にないくらい高い

留学中 100%力を振り絞った瞬間

授業内でのプレゼンテーション

アメリカで仲良くなった韓国人のお姉さんと話す時自分が話したいことを一生懸命英語で伝えた。

ホームステイ先の家族と大喧嘩した時、とにかく自分の主張をするために150%出した

留学先大学の良かった点

長期休みに入る前しか現地の生徒とのかかわりがなかった

留学先の大学で良かった点は、先生に質問すると授業に関係のないことでもとても喜んで質問に答えてくれたし、プラスアルファで何かためになることを教えてくれた。

日本人がそこそこ多かったところ。おかげあまり困ることはなかった。